

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		大久保発達放課後センター				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	活動に合わせて机を全て片付けたりしている。メインフロア、療育室、和室の3部屋を活用するようにしている。	スペース確保の為、物の配置や片付け方法を定期的に見直していく。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	国の人員配置基準に定められている人数より多く配置しており、利用者の状態でフォローが必要な場面に対応できるようにしている。	利用者の特性によって人数調整をしていく。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	段差がある箇所は、障害の特性によって補助が必要かどうかでサポートしている。イラスト等を使用し視覚的に情報伝達をしている。	施設の構造上、難しい箇所は定期的に見直しを行ふようにし、安全対策に努めていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の清掃は徹底して行い、施設内だけでなく施設外も清潔に保てるよう心がけている。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	利用者と支援員が日々、しっかりとコミュニケーションをとることで、自分の気持ちを言いやすい環境作りをしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日、ミーティングを行い、前日の支援方法や利用者の様子を振り返っている。その際にどのような支援が適切か等も話し合っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎月発行している通信を知らない保護者が多かった際には、利用者に記事を書いてもらい、どこをどのようにして書いたかを直接伝えるようにしたことで全保護者の周知に繋がった。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎日のミーティングで気になった事等を話し合うことで、働きやすい環境作りを心がけている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	指摘を受けた点は検討している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	法人内の研修は積極的に参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	毎月発行している通信で、プログラムの公表を行っている。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	面談にてしっかりとアセスメントを行う事で、適切な計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	全支援員が理解した上で支援が実施できるよう、計画案に訂正、変更できる機会を設け、その後に話し合うことで誰でも指摘できるようにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	ケース検討会議で全支援員の理解が得られた計画書のみ実施している。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	最新情報は半年に1度、必ずアセスメントシートを更新している。日々のミーティングで情報共有を行い支援を統一するようにしている。		
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ケース検討会議でその点も話し合うことで齟齬が生じないようにしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	適任者を複数選出し実施している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	法人内の他施設のプログラムを参考にすることで様々な内容のプログラムを取り入れている。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	その日の子どもの様子や状態に合わせて内容を変更させている。		

	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日の役割分担を表に示す事で分かりやすくし、また毎日のミーティングで支援についても話し合っている。	
適切な支援の提供	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	当日は、送迎担当の支援員が不在だったりするため実施できていないが、翌日のミーティングで前日の支援や利用者について話し合いをしている。	送迎の兼ね合いで当日に実施する事が難しが、翌日に必ず振り返るようにし、より良い支援に繋げていく。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	業務ノートに日々の記録欄を作り、小さなことでも全て記入するようにしている。	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	子どもの成長に合わせて、現在の課題を保護者と相談して、計画の見直し変更を行い、適切な支援が行えるようにしている。	
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0	毎日のレクリエーションに役割をもたせ主体性を育んでいる。また地域交流では長期休みを利用して取り組んでいる。	
	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	指示するのではなく、選択肢を提示して、子どもに選んでもらい自己決定する力を養っていくようにしている。	
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	責任者が対応するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	5	お迎えに行っている学校とは常にコミュニケーションをとって連携している。	関わりの少ない施設等とは支援体制が整えられていらない。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校へのお迎えの際に先生と密にコミュニケーションをとるようにし、情報交換をしている。	
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	法人内の児童発達支援事業所とは、常日頃より情報共有を行っている。	法人外の事業所利用の場合は、保護者からの情報だけになっている。
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	依頼があれば情報提供するようにしている。	
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスルバーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	学校へのお迎えの際に挨拶等コミュニケーションをとり存在をアピールしている。	挨拶等で顔なじみになってはいるが、それ以上の関係は築けていない。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	近隣の公園での活動の際には、地域のこどもたちと話したりコミュニケーションをとっている。	活動の機会を企画して実施はしていない。
	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		現状、参加出来ていない。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎やお迎え時に施設での様子だけでなく、積極的に自宅での様子をお伺いすることで共理解を深めている。	
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	施設だけでの支援ではなく、自宅でも取り組んでもらえるよう、家族に対して分かりやすく伝わるように努めている。	
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時だけでなく、最初のお渡しする時に一つ一つ説明を行い納得してもらえるまで説明している。	
保護者への説明等	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	日頃から密に保護者の話を積極的に聞き、また面談時に利用者の目標とところと一緒に確認するようにしている。	
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	直接説明している。また仕事で会えない保護者に対しては電話で支援内容の説明を行い同意を得るようにしている。	
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	専門的な相談を受けた際には、専門職に必要な対応の方法を相談し、お伝えしている。悩み事に対しても日をあけず、助言するように心がけている。	
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会を開催し、保護者同士のコミュニティが広がるように努めています。	
	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情があった際には、すぐに対応し、支援員全体での情報共有を行っている。	
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月、行事予定や活動内容の報告を記載し発行している通信には、一部利用者に記載をして頂き、保護者が見てみたいという内容を心掛けています。また発行日には直接記入箇所の説明を行っている。	

保 護 者 へ の 説 明 等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報などが記載されているものは鍵付きのロッカーに保管しており、施設外に持ち出さない事を徹底しています。破棄する書類はシュレッダーを使用しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	発語のない利用者には絵カードやマカトンサインを使用し意思疎通を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		実施出来ていない。
非常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	避難場所をお手紙で配布したり、契約時にお渡しし、保護者にお知らせしています。また各マニュアルを作成し、職員間で周知し、ロールプレイングで実践練習も行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	年間を通して計画を立て、月に1回、火災、地震、水害、ガス漏れ、不審者等を想定した避難訓練を行っています。また、避難訓練を実施した際の反省点を、法人全体のミーティングで話し合い改善しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に確認すると共に、半年に1度の面談時に必ず確認するようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	指示通りの対応を周知し実施している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	扉を開けた際には支援員が扉前に立ち、飛び出しを防ぐ等の対応を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	施設での安全確保についての取り組みを、お迎え時や面談等で積極的に伝えるように努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット事例集を施設にて作成しています。ミーティングにて支援員間で共有した上で、今後の対応を話し合い、細かく記録を残すようにしています。今後も記録や情報の共有を行い、安全確保に努めていく。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	法人主催の研修に参加したり、適切な支援が出来ているか振り返っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	法人内でケース検討会を実施した上で、保護者に同意を得ています。	

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	大久保発達放課後センター		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 9日 ~ 2024年 8月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 8月 9日 ~ 2024年 8月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	勤続年数が長い支援員が多い。	不安が多い保護者に対して、相談しやすい環境を作り、経験を生かしたアドバイスを行うことで保護者が安心し、信頼してもらうことで、どんなことでも話しができるように心がけている。	勤続年数に限らず、保護者が相談しやすいコミュニケーションの取り方を意識すると共に、どのような伝え方がより良いのか等、日々支援員同士で情報共有をしっかりとしていく。
2	風通しの良い職場。	何でも話せる雰囲気作りを心掛けています。支援員同士でしっかりと話し合いをすることで、支援に対して様々な意見を出し合っています。また発言者が偏らないよう全支援員が発言できるように意見を一人一人聞くようにしている。	外からの意見があれば改善し、より良くしていきます。
3	女性が多い職場だが、男性支援員も在籍している。	以前、保護者より相談があり実施した例だが、年頃の男の子に対して、母親には質問しにくい性的な悩みを別室にて話し合う機会を設けた。	同性同士だとより円滑に支援できる場合は活用していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	国の定めている広さは確保できているが、活動スペースが狭いと感じられている。	身体を動かすことが好きな利用者が多い為、本児たちは公園のような広さを求めている。限られたスペースの中で身体を動かしているので物足りなさを感じているのだと思う。	身体を動かすだけでなく静的活動や療育も楽しみながら行っていること。また、メインフロアだけでなく和室や療育室の3部屋を使用することで活動スペースを確保していることを保護者に伝え続けていく必要がある。
2	バリアフリー化が難しい。	賃貸物件の為。また、施設の構造上難しい。	和室へ行くためには2段の階段がある。和室へ行く際には支援員が必ず付き添うことで怪我のないようにしている。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		大久保発達放課後センター						公表日 年月日	回収数 15	
		利用児童数 18名								
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	0	0			レクリエーション時など体を動かす際に机を別室へ移動させ、利用者のスペースを広く危険のないようにしています。また、3つの部屋に分かれている事を面談等で再度お伝えしていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	0			国の人員配置基準に定められている人数より多く配置しており、利用者の状態でフォローが必要な場面に対応できるようにしています。今後も新しく入られた利用者の方には特に、資格をもった職員を基準以上に手厚く配置している事を、お伝えさせていただきます。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	1	1	・実際に活動しているところを見た事がない ・肢体不自由で歩行できず、伝い歩きや這っての移動だが、そういう意味でのバリアフリー化はされていないと思う			施設の構造上バリアフリー化が難しい所があります。その箇所は必ず職員が補助に入る事で、怪我のないよう引き続き配慮を十分に行っていくことをお伝えしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	1	・実際に活動しているところを見た事がない			自宅への送迎希望の保護者には、施設へ足を運ぶ機会が少ないので、面談時等で快適な空間作りについて実際に見ていただきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	15	0	0	0			引き続き専門職と連携をとりながら特性に応じた支援をしていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0			引き続き日々支援内容を検討することでプログラムに沿った支援を継続していきます。	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0			面談の際に、前回の支援計画書に対しての支援内容の振り返りを行い、現状を情報共有します。その中で、新たな課題が出来ば、新しく目標設定を行い、計画書の作成を行っています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	15	0	0	0			支援員全体で会議を重ねることで、適切な内容に設定出来るようにしています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0			定期的に見直しを行い、支援計画書を基に支援を行っています。支援員間で面談内容を情報共有し、支援内容を統一しながら支援を行っています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	0			日々のミーティングの中で、利用者の特徴や状況に合わせて、活動プログラムが固定化されないように支援員全体で意見を出し合い、考えています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	2	0	1			現在、交流の機会は設けておりませんが、保護者からの意見を聞き、今後実施を検討していきます。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0			面談時や契約時に保護者への説明を行っています。また、問い合わせがあれば、その都度説明しています。今後も丁寧に分かりやすく説明を行っていきます。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0			契約時に保護者への説明を行っています。また、問い合わせがあれば、その都度説明しています。今後も丁寧に分かりやすく説明を行っていきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	0	0	0			保護者からの相談があれば、専門職によるアドバイスや支援員との面談を行い、話し合いの場を設けています。今後も情報が発信できるように努めています。	

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1	0	0	・毎日活動の様子を細かく伝えてもらっている	保護者との連絡ノートでのやりとりや送迎時の会話の中で、日頃から情報を共有できるように沢山コミュニケーションをとっています。今後もご家庭や学校、施設での様子等を、積極的にやりとりし、共通理解に努めます。また日本語の苦手な保護者には伝わっているかの確認をすることで密にコミュニケーションをとれるようにしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0		最低でも半年に1回のペースで面談を行うと共に、送迎時や連絡ノート、電話等でも相談を受け付ける体制を整えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0	・人一倍手のかかる息子をとても手厚く支援してもらっている	保護者との連絡ノートでのやりとりや送迎時の会話の中で、日頃から情報を共有できるようにコミュニケーションをとっています。今後もご家庭や学校、施設での様子等を、積極的にやりとりし、保護者の思いに寄り添いながら支援していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2	0	0	・保護者同士の交流会やイベントがあれば、またの機会に参加してみたい ・兄弟向けイベントに参加してみたい	保護者会へ参加していただけるような内容を考え、保護者同士の連携を大切にしています。きょうだい向けイベントに関しては今後検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	0		相談があった際にはすぐに対応し、送迎時だけではなくいつでも電話等での対応をしている事をお伝えし、いつでも相談を受け付ける体制を整えています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		引き続き配慮しながらコミュニケーションをとっています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	0		毎月、行事予定や活動内容の報告を記載し発行している通信の一部を利用者に記載して頂き、保護者が見てみたいという内容を心掛けています。また発行日には直接記入箇所の説明を行っている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		個人情報などが記載されているものは鍵付きのロッカーに保管しており、施設外に持ち出さない事を徹底しています。破棄する書類はシュレッダーを使用しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	0		避難場所をお手紙で配布したり、契約時にお渡しし、保護者にお知らせしています。また各マニュアルを作成し、職員間で周知して、ロールプレイングで実践練習も行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	0		年間を通して計画を立て、月に1回、火災、地震、水害、ガス漏れ、不審者等を想定した避難訓練を行っています。また、避難訓練を実施した際の反省点を法人全体のミーティングで話し合い改善しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		ヒヤリハット事例集を施設にて作成しています。ミーティングにて支援員間で共有した上で、今後の対応を話し合い、細かく記録を残すようにしています。今後も記録や情報の共有を行い、安全確保に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	0		事故等（怪我等を含む。）が発生した際には詳細と状況等を保護者へ送迎時に直接お伝えしています。お会い出来ない場合は、電話かメールで連絡しています。今後も記録や情報の共有を行い、再発防止や事故を防ぐ工夫を検討しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0	・10年以上も通わせていたいいるので子供も親も安心して通わせてもらっている	安心して通所が出来るように、明るく楽しい雰囲気を目指し、支援員間でも意見を出し合い工夫しています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0		日々のカリキュラムの中で楽しく通所が出来るように内容を工夫しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	とても満足し手厚いサポートに感謝しています	満足していただけるように今後も利用者や保護者と密にコミュニケーションをとっています。